

大泉

若者の創業への関心を高めるため、県は5日、大泉町の大泉高（青木央子校長）で、創業者創出ミーティングを開いた。人工知能（AI）やシステム開発を手掛けるファントム（桐生市）の石井伸和社長（29）が講演し、写真、普通科1年生約40人が耳を傾けた。

石井さんは自身の歩みを



起業は「本気」「諦めず」

大泉高

ファントム・石井社長が講演

振り返り、「仕事の難しさは相手が何を求めているか見極めること」と述べた。その上で、「物事はあまり思い通りに進まない。『本気になればできる』『諦めない』の二つが大事」と語った。

講演を開いた太田優さんは「起業についてイメージがつかめた」と話した。

石井さんは2018年に同社を創業。医療や介護の現場の人手不足を支援するAI搭載カメラ「キャスパ」を提案し、起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード（GIA）2019」のファイナリストになった。